



みんなの まちづくり

第9号/2001. 12. 20

 発行 明姫幹線南地区まちづくり協議会
 事務局 高砂市役所都市整備部計画課

！！アンケート調査結果速報！！

「約74%の高い回収率、まちの将来像と土地利用規制については賛成が過半、市街化区域への編入については意見が分かれる」

10月下旬におこなわれましたアンケート調査の結果が出ましたのでお知らせします。総配布数 708 票に対し、有効回収数 523 票と非常に高い回収率(73.8%)となりました。皆さんの熱意とご協力に感謝いたします。

調査結果の概要

○配布回収状況

C地区の回収率が高くなっています。

	配布数	有効回収数	回収率(%)
A地区	192	130	67.7
B地区	240	177	73.8
C地区	277	216	78.0
合計	709	523	73.8

○回答者の属性

男性、50才以上の方が多く、女性や若い方は少数です。

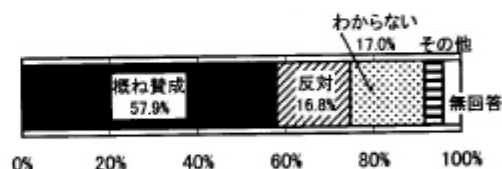
	性別*(%)		年齢(%)						
	男	女	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代以上	不明
A地区	76.2	21.5	1.5	1.5	12.3	28.5	24.6	27.7	3.8
B地区	69.5	23.7	0	0	11.9	33.9	20.9	25.4	7.9
C地区	74.1	24.1	0.9	6.0	12.5	25.0	25.0	25.9	4.6
全体	73.0	23.3	0.8	2.9	12.2	28.9	23.5	26.2	5.5

*：未記入を除く

全 体

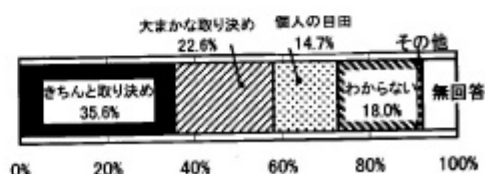
問1 まちの将来像について

約60%が賛成、反対は17%と少ない。年齢別にみると40～60歳代では60～70%の賛成率であるのに対し70歳以上では、賛成は約45%に留まっており、反対やわからない方の割合が高くなっている。



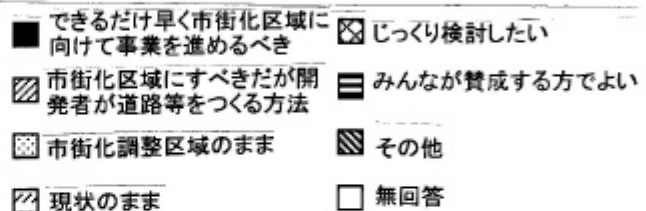
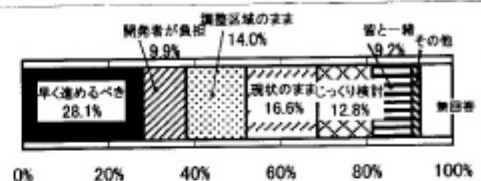
問2 土地利用規制について

きちんとした取り決めが必要とする人と大まかな取り決めが必要という人を合わせると、約60%を占め、個人の自由で良いとする人は15%と少ない。



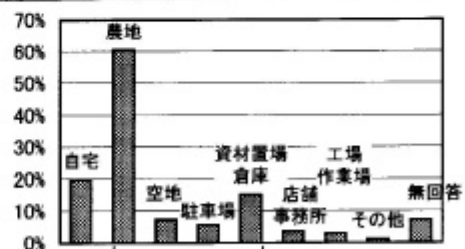
問3 まちづくりの手法・進め方について

土地区画整理事業を進めるべきとする人は30%以下に留まり、計画をつくり開発にあわせて市街化したいという人も10%以下である。一方、現状のままでよい、調整区域のままで土地利用に関する取り決めをつくる、じっくり検討したいという人はそれぞれ15%前後であり、この3者を合わせると、4割強となる。また皆が賛成する方でもよいとする人は約10%となっている。



問4 現在の土地の状況について(複数回答)

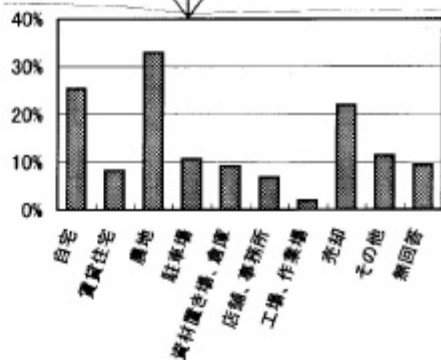
農地が約60%を占める。次いで多いのが自宅(20%)、3番目が資材置き場等(15%)となっている。



問5 将来の土地の使い方について

(複数回答、現状が農地や空地の人のみ対象)

農地が約30%、自宅が25%となっている。売却が20%を超えている点が注目される。現状での農地所有者312人の内、将来も農地として使いたいという人は144人(46%)に留まり、農地所有者の過半が宅地化を望んでいる。

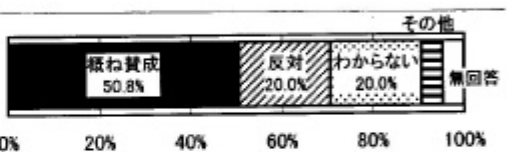


地区別の結果

A 地区

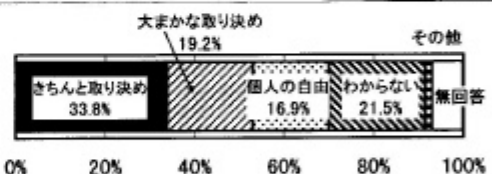
問1 まちの将来像について

約50%が賛成。他地区に比べ賛成率が低い。



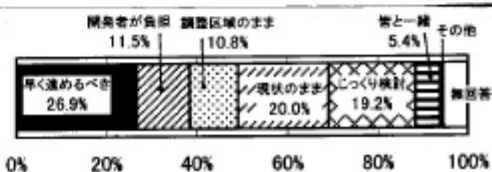
問2 土地利用規制について

何らかの取り決め必要とする人は約50%で他地区に比べ少なくなっている。



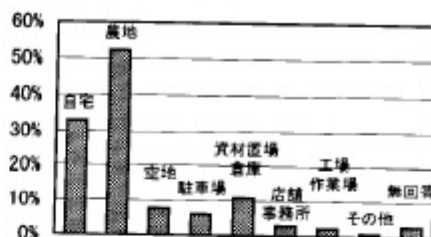
問3 まちづくりの手法・進め方について

土地区画整理事業を進めるべきとする人は27%に留まり、現状のままで良いという人やじっくり検討したいという人が他地区より多く、それぞれ約20%となっている。



問4 現在の土地の状況について(複数回答)

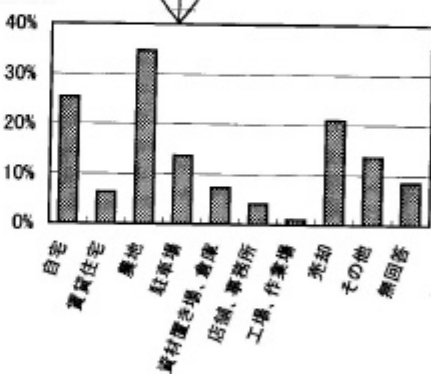
農地が最も多く過半を占めるが、他地区に比べ自宅が33%と多くなっている。法華山谷川沿いの集落があるためと考えられる。



問5 将来の土地の使い方について

(複数回答、現状が農地や空地の人のみ対象)

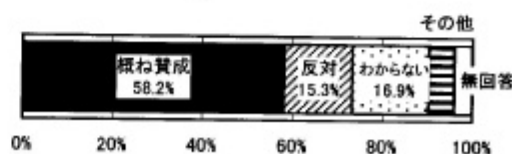
農地が35%、自宅が25%、売却が21%となっている。現在の農地所有者68人の内、将来も農地として使いたいという人は33人(49%)であり、農地所有者の過半が宅地化を望んでいる。



B 地区

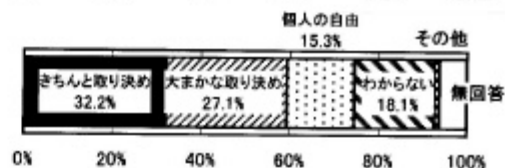
問1 まちの将来像について

約60%が賛成。



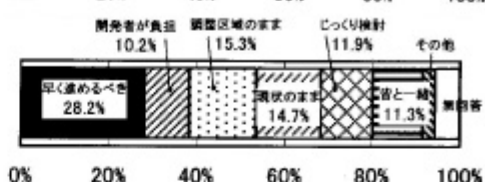
問2 土地利用規制について

何らかの取り決めが必要とする人が約60%。



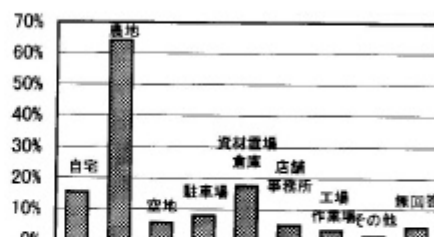
問3 まちづくりの手法・進め方について

土地区画整理事業を進めるべきとする人は28%に留まり、調整区域のまま土地利用の規制のみを行うのが良いとする人や現状のままで良いという人が約15%となっている。



問4 現在の土地の状況について(複数回答)

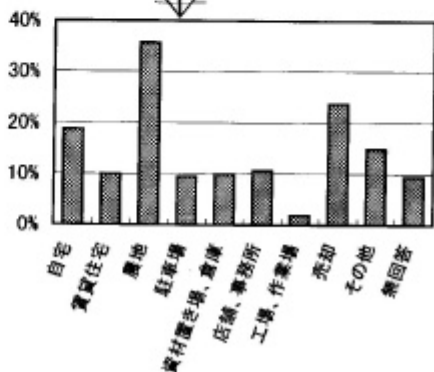
農地が約65%を占め、次いで資材置場・自宅が各々15%前後となっている。



問5 将来の土地の使い方について

(複数回答、現状が農地や空地の人のみ対象)

農地が36%、次いで売却が多く25%となっている。自宅に使いたいという人は19%で、3地区中、最も少ない。現在の農地所有者113人の内、将来も農地として使いたいという人は57人(50%)であり、農地所有者の半数が宅地化を望んでいる。他地区に比べ、賃貸住宅や店舗・事務所に使いたいという人の割合が高くなっている。



C 地区

問 1 まちの将来像について

62%が賛成で、3地区中最も賛成率が高い。

問 2 土地利用規制について

何らかの取り決めが必要とする人が約 60%。

問 3 まちづくりの手法・進め方について

土地区画整理事業を進めるべきとする人は他地区と同様に 29%に留まっている。無回答の割合が他地区に比べて高くなっている。

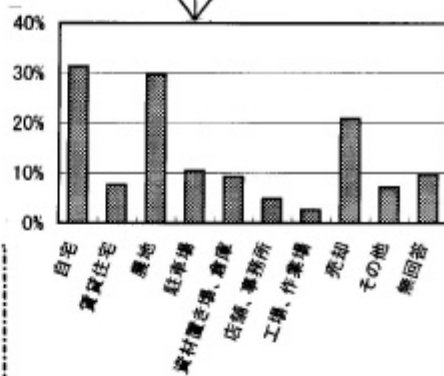
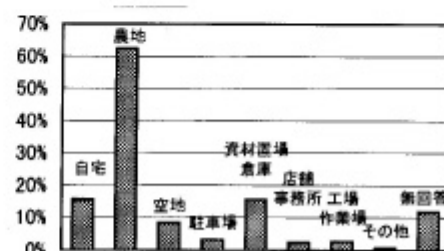
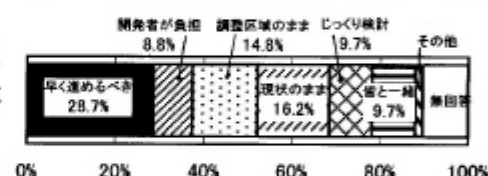
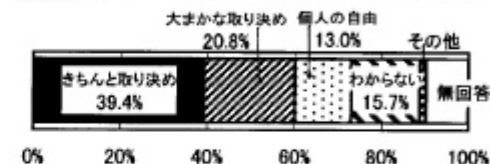
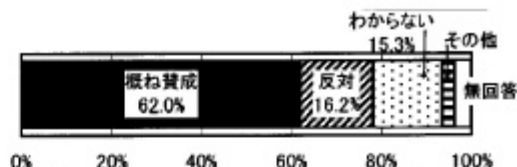
問 4 現在の土地の状況について(複数回答)

農地が約 60%を占め、資材置場・自宅が各々約 15%となっている。

問 5 将来の土地の使い方について

(複数回答、現状が農地や空地の人のみ対象)

農地・自宅が約 30%、売却が約 20%となっている。現在の農地所有者 131 人の内、将来も農地として使いたいという人は 54 人(41%)であり、宅地化への意向は 3地区中最も強い。



自由意見

○ 130 人の方が意見を書いて下さいました。

○ 各地区で共通する主な意見は、以下のとおりです。

- ・このまま農業を続けたい。
- ・土地区画整理事業をするとしてもなるべく減歩を少なくして欲しい。
- ・資材置場については地区外移転も含め抜本的な対策をしてほしい。

○ この他には、

- ・早く市街化に向けた事業を進めてほしい。何をもちもたしているのか。↔ ・もっとじっくり取り組むべきだ。土地区画整理事業はとんでもない。
- ・事務局なども地元でやって、もっと住民主導で進めるべき。↔ ・もっと行政がしっかり取り組むべき。市が早くゴーサインを出すべき。
- ・介護施設や病院などをつくってはどうか。
- ・高圧線下の利用や鉄塔の移設が必要ではないか。
- ・商業・業務ゾーンが広すぎる。
- ・もっと若い人が中心になるべきである。
- ・正当に許可を得て、かつ近隣対策もして営業しているのに今更規制をかけられても困る。(工場か資材置場の方と思われます。)
- ・考え方の違う人が、それぞれの意見を出して話し合っていくべき。

など、実に様々な意見がありました。

< 参考 > アンケート調査票

A. まちの将来像(案)について

問 1. あなたは「まちの将来像(案)」についてどう思われますか。同封のアンケート記入参考資料(ピンク色の用紙)の表面の図と説明をよく読み、「明姫幹線南地区全体」のことを考えてお答え下さい。

(いずれか1つに○印をつけてください。)

1. おおむね 賛成である。 → 条件や部分的な修正要望などがあれば、お書き下さい。
2. 反対である。 → 理由や要望などをお書き下さい。
3. わからない。
4. その他 → 具体的にお書き下さい。

B. まちづくりの方法、進め方などについて

問 2. 市街化区域・市街化調整区域にかかわらず、よりよい環境づくりのために、資材置き場などの規制、農地の保全などについての取り決めを、皆さんの合意のもとにつくることについてどう思われますか。

なお住民懇談会においても、取り決めをつくることについては、賛成の意見が多く出されました。(いずれか1つに○印をつけて下さい。)

1. きちんとした取り決め(条例や協定)をつくるべきである。
2. 一定の取り決めは必要と思うが、あまり細かなところまで決めなくてよい。
3. 土地所有者個人の自由に任せるべきと思う。
4. 今の時点ではよくわからない。
5. その他(具体的にお書き下さい。)

問 3. まちづくりの進め方については、早く思い切った事業を進めるべきであるとか、もう少し時間をかけて検討すべきなどのご意見がありますが、同封のアンケート記入参考資料(ピンク色の用紙)の裏面の解説をよく読んで、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

(いずれか1つに○印をつけて下さい。)

1. 一定の負担はあっても、できるだけ早く市街化区域に向けて事業を進めるべきである。(解説の図Aを参照)
2. 市街化区域にすべきであると思うが、多少時間がかかっても、開発する者が自ら道路や小公園をつくっていくような方法がよい。(解説の図Bを参照)
3. 市街化調整区域のままでよいが、土地利用の取り決めは必要である。
4. もっと時間をかけて、じっくり検討したい。
5. 現状のままでよい。
6. みんなが賛成する方でよい。
7. その他(具体的にお書き下さい。)

C. あなたの土地の現状と将来の活用について

問 4. 地区内にお持ちの土地は、現在、何に使われていますか。(あてはまるもの全てに○印をつけて下さい。)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 自 宅 | 6. 店舗、事務所 |
| 2. 農 地 | 7. 工場、作業場 |
| 3. 空 地 | 8. その他(具体的にお書き下さい。) |
| 4. 駐車場 | |
| 5. 資材置き場、倉庫 | |

問 5. 問 4 で、2, 3, 4, 5 に○をつけた方におたずねします。

将来(10年～20年後ぐらいを目安にお考え下さい)はどのようにしたいとお考えですか。市街化区域・市街化調整区域にかかわらず、個人的なお考えをお書き下さい。(あてはまるもの全てに○印をつけて下さい。)

1. 自宅 2. 賃貸住宅 3. 農地 4. 駐車場 5. 資材置き場、倉庫
6. 店舗、事務所 7. 工場、作業場 8. 売却したい
9. その他(具体的にお書き下さい。)

問 6. その他、ご意見または質問がございましたらご自由にご記入ください。

今後の進め方について

○まちの将来像等について、市長に提案

まちの将来像と土地利用等の「取り決め」づくりについては各地区とも賛成が多く、役員会で協議の結果、地元の総意として当協議会会長から市長に提案することになりました。（まちの将来像については反対もありますが、その約 1/3 は「土地が狭くなる」ことを理由としており、本質的な反対とは考えられません。将来像は特定の事業を前提としたものではありません。）

○まちづくりの進め方等については、検討を継続

昨今の社会経済情勢を反映してか、各地区とも「市街化区域編入を望む」とする意見も、「市街化調整区域のまま」＋「じっくり考えたい」とする意見も約40％となっており、現時点でどちらかに決めて市に提案や要望をすることはできない状況です。全体としては、よりよいまちづくりができるよう更に検討を進めるとともに、市の方針も、より明確にさせていただき、熱意を持って取り組んでいただくことをお願いする予定です。また、「取り決め」の具体的な内容についても、市と当まちづくり協議会で協議しながら検討していく予定です。

○引き続き、皆さんのご協力をお願いします

アンケート調査結果や住民懇談会での意見を真摯に受け止め、役員会を中心に今後のまちづくりについて更に詳細に話し合うこととなります。その結果は適宜皆様に報告するとともに、懇談会や具体的なまちづくり手法の学習会などの開催も予定しています。皆さんも引き続きご協力下さいますよう重ねてお願いいたします。

○多くの人の意見も聞いてみよう

アンケート調査の詳しい内容や自由意見は来年1月末までに、冊子にまとめ、事務局及び役員宅に備える予定です。プライバシーに触れることは削除してありますので、是非ご一読下さい。自分とは異なる考えを持つ方の意見を聞いてみることも大切です。

お知らせ

次号より、投稿欄(私のひとことコーナー)を設けることにします。まちづくりに関するご意見をお寄せ下さい。(文字数は約 800 字以内でお願いします。写真や図なども文字数に含みます。)

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

発行：明姫幹線南地区まちづくり協議会

事務局：高砂市都市整備部計画課 TEL：0794-43-9033

FAX：0794-43-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp